



「じゃがいものうち」通信 臨時増刊号 2015.10.23

～障害者と共に生きる仲間たち～ NPO法人「じゃがいものうち」



〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel. Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:<http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga> 代表 楯篤雄

ブログ：<http://blog.canpan.info/jagaimo/>

「憩いの豆腐作りワークショップ」を終えて

思いがけない災害に遭遇し、住み慣れた家と地域から離れなければならない。知らない新しい場所での暮らしを余儀なくされ、いつ帰れるか解らない不安な生活が続いて行く。

そんな不自由で不安な生活に「じゃがいものうち」が少しでも役に立てないかと、企画してみた「憩いの豆腐作りワークショップ」。久しぶりの豆腐作りなので練習を含め3度の集まりを持ちました。計画に沿ってそれぞれの役割分担をして、9月6日の本番を迎えることとなりました。

本番当日まで、連日の様に支援のイベントがある口永良部島の方々に、かえって「善意の押し付け」ではないかと心配をしていました。おまけに滝巡りどころか島中滝だらけの大雨の朝、はたして宮之浦から出て来られるのだろうか…、迷い悩んだ当日の朝でした。幸い大雨の影響もなく皆さんがぽんたん館に到着、滝巡りコースは危険回避のため、急遽「和太鼓ワークショップ」に変更してのに開催になりました。豆腐作りも、昼食のメニューもとても良く出来ました。そして口永良部島の方達と一緒に作り、会話し、楽しい交流が出来ました。食後の余興も手作り感満載で親しみ深い時間を共に過ごすことが出来ました。始まるまでの心配は、皆さんの笑顔で安心に変わりほっとしました。

口永良部島の皆様ありがとうございました。そしてこの企画に協力して頂きました各関係機関の皆様、会員の皆様、そして会員以外の手伝ってくれた皆様、本当にありがとうございました。

善意を受ける人と奉仕の人、共に「ありがとう」といえる姿が「福祉」なのかなーとあらためて思った、いい体験でした。

(楯 篤雄)



特集 『口永良部島の皆様との「憩いの豆腐作り」ワークショップ』

- <参加者> 口永良部の方 大人 13 名、小中学生 11 名
じゃがいものおうち他 大人 24 名 子ども 4 名
- <経過> 6 月 20 日 理事長より提案 企画チーム会議への呼びかけ
6 月 27 日 第 1 回 企画チーム会議 (参加者 7 名)
滝巡りバスツアーも、豆腐作りに参加しない人用に企画
大体の昼食メニュー作り
プレイベントの発案
- 7 月 12 日 プレイベント (参加者 9 名)
第 2 回 企画チーム会議 (参加者 6 名)
昼食メニューと役割分担
余興の出し物決定
- 8 月 24 日 第 3 回 企画チーム会議 (参加者 8 名)
最終確認 (準備する物、する人、等)
- 9 月 6 日 豆腐作りワークショップ
(当日) 滝めぐりは大雨のため、和太鼓ワークショップに変更



<豆腐作りワークショップの報告>

大雨の降る中、口永良部の方々が到着。すごい雨だったので、どれくらいの方が来てくださるか心配でしたが、ほとんどの方が参加してくださり感謝でした。

加工室に入ってくる際には、皆、タオルを頭に巻き、やる気まんまんな様子。楯さんの豆腐作りの工程説明を熱心に聞いていました。「じゃがいものおうち」側のスタッフは 8 時半から事前の打ち合わせ通りに各自の仕事を進行。

口永良部の方々も豆腐作りの方で手が空いた時には、野菜を切ったり何やかやと料理の方を手伝ってくれていたようでした。私はとて言えば出たり入ったりしていて、作業の様子はほとんど目に入っていませんでした。が、豆腐を水からあげるところだけはたまたま見ていて、子どもたちのひかえめ(シャイ)な様子をほほえましく思ったことでした。

ばたばたしている内に(私一人か?) あっという間に 12 時。途中、ご飯が炊けていない「エーッ、誰よ、コンセント抜いた人!」(犯人は楯さん)というハプニングやら、即席漬け担当の人が食事の会場作りへ行っていなくなるハプニング(しかし、他の人がすぐ引きついでやってくれたので無事出来上がりました。絶妙のチームワーク!)やらありましたが、何とか間に合わせることができました。手伝ってくれた皆さん、本当にありがとうございました。

豆腐・おから煮・即席漬け・呉汁・おいなりさん・おからドーナツ、どれも皆大変おいしかったです。食後は「みんなのおうち」のメンバーがやるはずだった(残念なことに、この日は皆都合が悪く欠席)「カントリーロード」をスタッフ有志がぶっつけ本番で、子ども達の鳴り物参加で合唱し、「365 歩のマーチ」の全員合唱、じゃがいものおうちの中井さん、松山さんの歌と続き、松山さんの音頭で「もみじ」の輪唱(何てきれいな輪唱と二部合唱!)水戸黄門の主題歌の全員合唱で終わりました。

進行役の私は、温泉へ行く時間が気になり、本人の申し出もあって、まみよさんの歌は省略してしまいましたが、JR 温泉には早く着いてしまい、少し待つことになってしまいました。中井さん、松山さんとは趣の異なる(子ども達が喜びそうな現代風の?)歌を予定されていたのに残念でした。

温泉に行く頃には雨も上がり、時間前に着いたので、ゆっくり入ることができました。なかなか出てこない女子組を見に行くと、鏡の前で何やら一生懸命にやっていました。ウーン、やっぱ



り女の子！元女子の方々も「豆腐と温泉でお肌ツルツル、別人になった」と喜んでいました。

豆腐作りのどこかで出る秘密の液をもらって帰った方もいるようでした。（お肌ツルツル美人になりましたか？）

参加して下さった全ての皆様、本当にありがとうございました。

準備した私達もとても楽しい一日でした。

これを機に、今後も何か一緒にやる機会があったらいいですね。

（大垣千鶴）

<参加した人達の感想>

・準備がしっかりとでき、役割分担もありで、誰か一人に負担がかかることなく実施できてよかった。

他のじゃがいものおうちの行事も、今度のような形で進められたらよい。

<企画チーム>

・招いた側の気持ちのひとつになっているのが伝わってきてよかった。

<口永良部の方>

・料理がどれも皆おいしかった。

<企画チーム・口永良部の方>

・若い人がお手伝いにたくさん来てくれよかった。「じゃがいものおうち」も世代交代しないと…。 <企画チーム>

・当日はすごい雨だったので、やるかどうか心配だった。連絡がほしかった。

<企画チーム>

・口永良部の方に何かしたいと思っていたので、皆でできてよかった。

<企画チーム>

<和太鼓ワークショップ>

その日はあいにくの大嵐。私は大川の滝へのミニバス遠足へ同行させていただく予定だったのですが、あまりの大嵐に遠足は危険と判断し、和太鼓の体験教室へと内容を変更することになりました。

私は『神山せんだん太鼓』という小学生和太鼓チームの指導をしていることもあり、そのような運びとなりました。遠足にいくとばかり思っていた参加者の皆さんは「え?! 和太鼓なんて無理無理～」とさぞ不安に思われたことでしょう（笑）。始めは恐る恐る太鼓を叩き始めたみなさん。そうなんです、手の力だけでは、なかなか良い音が出ないのです。全身の力と思いをバチに込めなければ!

徐々に慣れるうち体も動くようになり、力を自然と込められるようになり、リズムが打てるようになり…。約一時間半、明日の筋肉痛が心配になるほど叩き叩き叩き、最後はソーラン節にあわせての演奏も体験できました。ワークショップを終える頃には、そのパワーで大嵐も退散してしまいましたね（笑）。それはそれは疲れたことと思います。

でも「内なるパワーを引き出し、和太鼓と向き合った」という体験が、みなさんの原動力になっていただければと心より願い応援しております。

（鈴木裕子）



<口永良部島豆腐ワークショップ収支報告>

（寄付、募金） 19名	44,260円
（支出）大豆他材料代	28,154円
（収支）	16,106円

たくさんの方からの寄付を頂いたおかげで、少し残金が出ましたので口永良部島の区長さんに渡します。

口永良部島の貴船裕子さんより お手紙をいただきました。

秋の気配がしてきました。
吹く風がひんやりしてきました。
道はしに突然、曼珠沙華が咲きました。
ススキの穂が出ました。
コオロギが鳴いています。

あの噴火で避難をしてから3ヶ月が過ぎ、たくさんの方々から助けて頂きながら帰れる日をひたすら待ちわびながら頑張れるのは、暖かく寄り添って下さる気持ちに支えられているおかげです。大きな噴火でしたが、誰も死なず行方不明者もなく、ただ一人火傷をしたおじい様がただで、そのおじいも元気になり皆無事だった事は島民みんなの気持ちも暗くならずにごせる一番の事です。人間のあらがえない自然の恐ろしさと豊かな自然の恩恵とを常に感じて生きてきた私たちです。これくらいの事でくじけないで頑張ります。

雷とどしゃぶりの雨に、楽しみにしていた遠足はどうなるかしら・・・心配しましたが予定通りに行われて何よりでした。滝めぐりコースはとりやめになりましたが、神山小学校での太鼓の体験と、ぼんたん館での豆腐作りに参加し、大変楽しい一日をすごしました。豆腐作りは楯さんの説明、指導、味見を興味深く教えていただきました。

NPO 法人「じゃがいものおうち」のみなさんで、心づくしのおいしいお昼ごはんやおからドーナツまで用意していただき、作りたてのお豆腐におなかも心も満たされ、大きな声で合唱をしたり、口永良部島出身の中井喜恵子さんの歌に楽しくなごんだ気持ちになりました。

温泉にも入り、身も心も喜んだ一日を作ってくださいましたみなさんに感謝申し上げます。どうかこれからももっと交流を深め、口永良部島へ帰ってからも続いてゆくよう願っています。

ぼんたん館、農業支援センター等の設備に口永良部島民は目を丸くもしました。

楽しい一日をほんとうにありがとうございました。



「みんなのおうち」から

「みんなのおうち」では、文化的な活動は心を豊かにする楽しい事なので、時々午後の活動として取り組んでいます。現在音楽活動として、仮称「楽団みんな」を結成し、まだ内輪の席ですが発表もしています。ところで「みんなのおうち」所有の楽器は、社会福祉協議会から共同募金の配分金を頂き購入できたキーボードのみで、他の楽器がほとんど借り物です。そこで、皆さんのおうちにもし眠って使われていない楽器がありましたら譲っていただけませんか。音の出るものであればなんでも結構です。よろしくお願い致します。

それからもう一つ、現在「みんなのおうち」送迎車両が3台ありますが、その一台が1月に廃車を迎えようとしています。あちこちの財団や企業の車輛助成の申請も挑戦していますが、確実ではありません。もし皆様の中で、乗り換え等で譲っていただける車輛があればありがたいです。車いす仕様の車輛がベストですが、軽自動車の4ドア、などでも勿論大歓迎です。よろしくお願い致します。

【看護師 募集】

現在看護師を募集しています。主に医療の視点から健康回復や生活支援をし、療養上のお世話や診療の補助業務を担当していただきます。会員の方にお問い合わせできると良いですが、専門職ということもあり、なかなか見つかりません。お知り合いに看護師の方がいらっしゃれば是非お声がけをお願いします。詳細は「みんなのおうち」(0997-47-2357)まで。